

令和8年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
良岡理一郎 議員	1 公共交通機関の安心・安全、定時運航の再確保について	<p>(1) この間のフェリー、航空便の運行の乱れには目を覆わんばかりである。そのことは、町民の日常生活を脅かすばかりか喜界町に関係する多くの方々の信頼を損なうものである。長期的には本町の衰退を招きかねない。そこで伺う。</p> <p>① 今年度4月～5月末ごろまでの整備不良等を原因とするキャリアごとの欠航回数。その原因。 ・航空機 ・フェリー</p> <p>② JAC、奄美海運の整備不良等会社の責任による原因が多発している。特にフェリーは定期のドックを終えたばかりである。深刻である。</p> <p>③ 当面、月、水、金の船便は湾港→名瀬港を検討したらどうか。</p> <p>④ 今後の根本的対策 あらゆる場を通じて県や国に町民の生命線を守るための特段の対策の申し入れを行うべきである。町としての考えを伺う。</p>	町長
		<p>(2) 島内バスの運行現状と今後の見通しを伺う。</p> <p>① 4月以降も南・北それぞれ4便運航している。懸案の運転手は何名体制か。</p> <p>② 新継承事業者の応募状況。 見通し。</p> <p>③ 利用者増対策</p>	
2 納骨堂・火葬場整備計画の進捗について		<p>(1) 納骨堂の計画概要</p> <p>① 納骨堂・合葬墓の種類、利用者の条件</p> <p>② 受入数 納骨堂 () 基数 合葬墓 () 柱</p>	町長
		<p>(2) 火葬場の計画概要</p> <p>① 現在の火葬件数、将来推計件数、必要火葬炉数 () 其</p>	
		<p>(3) 事業スケジュール (供用開始時期のイメージ)</p>	
		<p>(4) 計画概要の町民への告知時期及び方法</p>	
3 第1空挺団自由降下訓練について		<p>(1) 自由降下訓練について</p> <p>① 訓練期間</p> <p>② 参加部隊 人員数及び航空機</p> <p>③ 訓練の計画差異</p>	町長
		<p>(2) 降下中のパラシュート事故について</p> <p>① 事故内容</p> <p>② 発生日時 発生時刻から回収終了まで</p> <p>③ 幸い人身、物損の被害はなかったが町の対応は。</p> <p>④ 事故の性質からして町と鹿児島県の防衛省への抗議は厳しくあるべきだと思えるが見解を伺う。</p> <p>⑤ 第1空挺団、防衛省の謝罪と今後の対応の説明があつてしかるべきだが、予定を伺う。</p>	

令和8年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
良岡理一郎 議員	4 京都大学遺骨返還問題 について	<p>(1) 町長の認識は「返還を要求しこれをどこに収めるかの問題がある。集落で叶わないときは、いま町の方で納骨堂等の計画をやっている。それが可能かどうかも踏まえない。 大事な先祖のお骨ですので、どこに収めるかということをしかりと確保した上で話を進めたい」とのことである。認識に違いはないか。</p> <p>(2) 京大と事前折衝に入られたどうか。</p>	町長
生島 常範 議員	1 フェリー2隻体制維持に 向けた対策	<p>5月16日、フェリーあまみのエンジン故障で上り便が欠航となり、予定していた修学旅行が延期になるという事態が発生した。5月19日、群島議員大会において喜界町議会は2隻週5便体制維持に向け県・国へ支援を要望した。</p> <p>(1) 町長は「具体的な改善策を講じ、タイミングを見て関係機関へ要望する」とのことだった。内容は煮詰まったのか。要望するタイミングはいつなのか伺う。</p> <p>(2) 「鹿児島～喜界～知名航路対策協議会」に議会代表が参加できないか伺う。</p>	町長
	2 教育の振興 ～子どもたちの教育、 地域文化振興	<p>(1) グローカル教育 「ふるさとと自らの未来を創造するグローバル人材育成」を目指している。群島内自治体では海外派遣事業を実施している。 まずはオンライン交流など実施出来ないか伺う。</p> <p>(2) スポ少、部活動（含文化系）支援体制 鹿児島県は「2031年度までに原則全部活で休日の地域展開を目指す」と発表した。 本町では人材の確保が課題になると思われるが、現状と今後の見通しを伺う。また、スポーツ少年団の指導をしている人材への支援と今後、中学校部活動の地域展開連携先となると思われる「地域総合型きかい100スポーツクラブ」への支援、連携強化も必須と思うが今後の計画を伺う。</p> <p>(3) 「危機的状況にある言語・方言サミット」が本年度本町で開催される。 群島内には大学・研究機関と提携を結び、三者連携で「島ことば継承推進協議会」を立ち上げている自治体もあるが、喜界町の計画を伺う。 また、町民からサミット開催の告知を広報誌やホームページで望む声があるが、計画を伺う。</p>	教育長
	3 人生100年時代、高年者 も輝く島に	<p>(1) 聴覚障がい診断指定医師派遣要請について 高齢になると耳が聞こえにくくなり、進行すると認知症発生率も高くなると言われる。 補聴器は高額で我慢する方も多いと聞く。喜界徳洲会病院は耳鼻科専門医も派遣し診断しているが、聴覚障害の診断ができる指定医が来なくなった。 来なくなった理由と有資格医師派遣を病院側に要請できないか伺う。</p>	町長
	4 共同納骨堂建設	<p>(1) 「R8年発注、R9年中に完成する計画」（R5年第4回定例会）、「納骨堂建設も含めた基本構想のとりまとめをしている」（R8年施政方針）に多くの町民及び出身者が期待している。 「火葬場・納骨堂整備基本計画（概要版）」によると、「事業費が十分に確保でき、最速で進める事が可能な場合のスケジュールは、火葬場は6年目、納骨堂は8年目」とある。 現在町長はどういう事業を優先すべきと考えているか伺う。また、町全体の事業調整が必要だと思うが、共同納骨堂の優先順位はどの位置にあるのか伺う。</p>	町長

令和8年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者		
土岐 和貴 議員	1 離島における危機管理体制と地域強靱化について	<p>喜界町地域強靱化計画では、台風・豪雨・地震・津波等の災害を想定している。本町は完全離島であり、フェリー減便や人口減少、高齢化が進む中、災害時の孤立対策と危機管理体制の強化が重要となっている。</p> <p>(1) 地域強靱化計画の進捗状況と次期計画策定をどのように進めていく考えか。</p> <p>(2) 台風・豪雨・地震・津波を踏まえ、避難所機能、備蓄、通信体制強化をどのように進めているか。</p> <p>(3) フェリー減便や悪天候による物流停滞を踏まえ、災害時の孤立対策をどのように講じているか。</p> <p>(4) 地域強靱化計画の実効性をどのように検証しているか。</p>	町長		
	2 人口減少時代における地域防災力の維持について	<p>喜界町地域強靱化計画では、将来的な人口減少が示されている。本町では、人口減少や高齢化が進む中、地域コミュニティや自主防災組織の維持、避難支援体制の確保が重要となっている。</p> <p>(1) 人口減少・高齢化による地域防災力低下をどのように分析しているか。</p> <p>(2) 自主防災組織や地域コミュニティ機能の維持をどのように進める考えか。</p> <p>(3) 高齢者・障がい者等の避難支援体制をどのように構築しているか。</p> <p>(4) 避難訓練・防災訓練の参加率向上にどのように取り組んでいるか。</p> <p>(5) 地域防災力維持に向け、若い世代の防災参加をどのように進める考えか。</p>	町長		
		3 災害・有事に備えた持続可能な危機管理体制について	<p>喜界町国民保護計画では、住民避難や情報伝達、関係機関連携等について示されている。近年は、台風大型化や通信障害リスクに加え、台湾有事等を含む広域的緊張も懸念されている。</p> <p>(1) 国民保護計画に基づく避難訓練や住民周知をどのように進めているか。</p> <p>(2) 台湾有事等を含む広域的緊張を踏まえ、国民保護計画の実効性をどのように検証しているか。</p> <p>(3) 停電・通信障害時の情報伝達体制をどのように整備しているか。</p> <p>(4) 食料・燃料・医薬品等の備蓄体制をどのように確保しているか。</p> <p>(5) 災害や有事を想定した実践型訓練を実施する考えはあるか。</p>	町長	
			4 災害時の行政機能維持について	<p>大規模災害や有事の際には、住民避難や物資供給に加え、行政機能を維持することが重要となる。</p> <p>(1) 災害時における行政機能維持について、現在どのような体制を構築しているか。</p> <p>(2) 停電・断水・通信障害発生時における役場機能維持をどのように想定しているか。</p> <p>(3) 今後の行政機能維持に向け、どのような課題認識を持っているか。</p>	町長

令和8年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
安藤 和久 議 員	1 総合型運動公園の計画について	(1) 先の3月議会で、総合型運動公園計画について令和7年度年度内に作業部会を設定するという答弁があったが、その後の進捗状況はどうなっているか。	町長
		(2) 令和8年度内に、作業部会の開催を何回ほど予定しているか。	
		(3) 作業部会のメンバー構成は、行政以外からも考えているか。	
	2 ウミガメ確認状況発表について	(1) 数か月前に、奄美群島のウミガメ上陸・産卵確認状況が発表されたが、喜界町におけるウミガメ保護監視員やボランティアは何名いるか。	教育長
		(2) 令和5・6年の「確認数0」の理由や過去においても、他市町村に比べて確認数が低い理由は何か。	
		(3) 喜界町において「確認数0」か「上陸数0」のどちらが課題と思われるか。	
	3 主権教育について	(1) 喜界町における主権教育には、小・中・高どのような活動があり、実施されているか。	教育長
		(2) 以前の議会で、学校に投票箱などを貸し出しているという答弁があったが、対象の校種や回数や頻度はどれくらいか。	
		(3) 以前は「子ども議会」などが開催されていたようだが、教育委員会の考えはどうか。	
		(4) 中学生や高校生を対象にした議場や議会開催中の見学は必要と思われるが、教育委員会はどのような考えを持っているか。また、教育課程編成上の支障はないか。	
	4 町管理の公園について	(1) 町が管理している公園は、町民から要望が出てから整備している印象が強いが、計画的な管理はどうなっているか。	町長
	原田 尚樹 議 員	1 鹿児島～喜界～知名航路フェリー減便について	フェリー減便から早1年が経ち、町の経済的損失も踏まえ、本町の対応について
(1) 各作業部会の検証結果の内容について			
(2) 検証結果を踏まえ支援策とその効果について			
(3) 国・県への要望の内容、要望提出のスケジュールについて			
2 島内環境美化について		日本で最も美しい村連合やジオパーク認定の2つのブランドを持つ、本町の持続可能な環境づくりについて	町長
		(1) 喜界町ポイ捨て防止条例の施行による町民の意識について	
		(2) 町民への環境美化の啓蒙について	
		(3) アダプト・プログラム（町民協働環境美化推進事業）の導入について	
3 観光振興について		第二次喜界町観光振興計画が策定され、次の10年に向けて進もうとしている喜界町の現状について	町長
		(1) 喜界町観光推進協議会の進捗について	
		(2) 喜界島観光アプリ「サンゴの島」の現状（登録数・アプリ機能・維持費など）と今後の活用強化について	
4 町民所得の向上について		2023年度の大島郡民経済計算結果を受け、本町の運営・政策について	町長
		(1) 町民所得向上に対してのこれまでの政策について	
		(2) 市町村内総生産に対する本町の増加率の受け止めと、これまでの政策について	
		(3) 今後の町民所得・町内総生産の向上について	

令和8年第2回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
原田 尚樹 議 員	5 本町の生活支援の強化について	町民の生活の質向上に向けた補助・助成制度の拡充について	町長
		(1) 加齢や障がいによる生活機能低下を支える補装具（補聴器など）助成について	
(2) 島外医療を必要とする住民支援（妊産婦・難病患者同行者支援）について		教育長	
	6 持続可能な島づくりにおける地域財源の確保について	(3) 離島における青少年のスポーツ・文化活動機会の公平性確保及び指導者育成支援について	
		(1) 人口減少や少子高齢化が進む中、今後の公共インフラ維持や環境保全、観光振興、医療・福祉等を持続的に支えていくための安定財源確保について	町長
倉橋 博都 議 員	1 のぞみ幼稚園の今後の活用方針について	(1) のぞみ幼稚園の今後の活用方針 ① のぞみ幼稚園が何月頃まで活用されるのか、現状のスケジュールを問う。 ② 志戸桶地区には、親子が安心して遊べる公園や、高齢者が日常的に運動できるスペースが不足している。のぞみ幼稚園の園庭を開放する考えはないか伺う。	教育長
	2 クリーンセンターの設備維持管理について	(1) クリーンセンターのペットボトルの圧縮機械の故障対応と適正処理 ① クリーンセンターのペットボトル圧縮機械が故障しているとの指摘があるが、いつ頃から故障しているのか、現状を問う。 ② 新しい圧縮機械は、いつごろ導入予定か伺う。 ③ 圧縮したペットボトルをリサイクル業者に、引き渡ししていると思うが、追跡調査は行っているのか伺う。 ④ 本町はジオパークとして発信しているが、環境インフラ整備の町長の考えを伺う。	町長
	3 「子や孫の世代」へ島を繋ぐための島出身者との対話について	島出身の現役世代（40～50代）を対象とした政策協議の場の創設 (1) 島の未来を考える上で、島外で活躍する40～50代の出身者（郷友会等）の知恵を借りることは重要である。町長スローガンである「子や孫の世代が住んでよかったと思える元気な島」を実現するため、彼らと島の政策について議論する場を設ける考えはないか伺う。	町長
向井 博己 議 員	1 喜界島のポイ捨て事情	(1) 5月18日の南海日々新聞に掲載されている中でラベリング効果（ラベルを貼る）と言う事だが、日々、喜界島はきれいな島と言うことをイメージされるように防災無線でポイ捨て条例を放送する事によってラベリング効果が出てくると言われている。 そこで、放送を週1回でもできないか。条例を広報に載せただけでは、だめだ。	町長
	2 喜界島観光資源と体験型観光	(1) 一本道の畦に花を咲かせたらどうか、SNS映えするのではないか。	町長
		(2) 滝川にナナテীগマと言う所があり、沖永良部の昇竜洞のように開発できないか、中に入ればサンゴが隆起した事ははっきりする。	
(3) 喜界島48神社は、日本の他の地域にはない。わずか50Km ² の中に48カ所もあるそれを観光資源にしない手はない。島に観光した人に話を聞くと1日で回って見る所が無いと言う。48カ所巡りなど企画したらどうか。御朱印などにおいて、スタンプラリーなどすると、1泊が、2、3泊となる。			